

2020年9月9日
中央日本土地建物グループ株式会社

官民連携機能「ソーシャルイノベーションハブ」の運用開始 ～社会課題解決を目的とした官民共創コミュニティ形成のためのトライアル拠点開設～

中央日本土地建物グループの子会社である日本土地建物株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 平松哲郎）は、東京・虎ノ門において、「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業（2025年度竣工予定）」で整備する国際的なビジネス交流拠点「（仮称）虎ノ門イノベーションセンター」の官民連携機能を担う「ソーシャルイノベーションハブ」のトライアル拠点を開設しましたので、お知らせします。今後は、社会課題解決を目的とした官民共創コミュニティの支援などを通じて、本機能の運用検証を進め、国際的なビジネス交流拠点・虎ノ門の形成に貢献していきます。

1. 再開発事業における「（仮称）虎ノ門イノベーションセンター」について

当社が事業推進パートナーの一員として、権利者の方々とともに推進する「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」では、国際的なビジネス交流拠点の形成を計画しています。当事業で整備するビジネス交流拠点「（仮称）虎ノ門イノベーションセンター」は、社会課題解決に向けた官民連携の交流機能を担う「ソーシャルイノベーションハブ」のほか、新規ビジネスの創出機能を担う「インキュベーションハブ」、「クリエイションハブ」の3つの施設などから構成されます。



この度、運用検証を開始する「ソーシャルイノベーションハブ」とは、一事業主体では解決が難しい現代の複雑な社会課題に対し、技術革新やビジネスモデルの変革（ソーシャルイノベーション）による課題解決を図るための機能と位置付けています。本取り組みでは、「ソーシャルイノベーションハブ」トライアル拠点（港区虎ノ門一丁目）において、官民間問わず社会課題解決に向けた取り組みを行う団体・組織・個人間のネットワーク構築支援を行うことで、ソーシャルイノベーションを喚起させるコミュニティの創出を図るほか、当社が展開しているインキュベーション施設「SENQ」のノウハウを活用して、官民共創のプロジェクト創出支援を行います。

◆「ソーシャルイノベーションハブ」トライアル拠点（本年8月開業）について

所在：東京都港区虎ノ門一丁目 1-13 磯村ビル 3 階

交通：東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩 1 分

面積：409.99 m²（124.02 坪）

位置図：



◆「ソーシャルイノベーションハブ」トライアル拠点での活動イメージ

- ・官民連携事業のプロジェクトルーム提供および活動検証
- ・社会課題を扱うイベントなどへの会場提供（WEB 配信元の会場としても含む）
- ・官民人材の多様なネットワーク構築
- ・FCAJ「構想の場」における各プログラムの実施
- ・各イノベーションセンターやフューチャーセンターなどとの施設間連携



<参考>

既存のインキュベーション施設「SENQ 霞が関」で実施した「官民共創イベント」の一例

日時	イベント名
2019年10月15日	成長戦略とスーパーシティ
2019年10月30日	サンドボックス制度を実例で語ろう
2019年11月13日	当事者が見て、感じる行政DXのそれぞれの現存地点
2019年11月19日	勝手に有識者会議 「空飛ぶ車」プロジェクト
2019年11月28日	MaaSの先駆者は実証の先に何を見ているか？
2019年12月6日	政策形成プロセスの勉強会
2019年12月17日	オープンイノベーションのジレンマ

2. 協力パートナーについて

本活動は、官民共創を推進する株式会社 Publink（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 梶井誠一郎）、「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」のブランディングディレクターを務め、クリエイター専用シェアオフィス co-lab を企画運営する春蒔プロジェクト株式会社（渋谷区渋谷一丁目 代表取締役 田中陽明）および株式会社 GOODTIME（渋谷区神宮前二丁目 代表取締役 明山淳也）、オープンイノベーションの場を通じて新産業の創造や新しい社会・経済システムを構想する一般社団法人 Future Center Alliance Japan（代表理事 紺野登）と協働して取り組んでまいります。

場の提供・ SENQ 連携プログラム	官民共創伴走支援	クリエイティブ ディレクション	オープンイノベーション プログラム

3. 虎ノ門・霞が関・西新橋エリアの活性化に向けて

当社は、本社所在地の霞が関をはじめ、虎ノ門や西新橋エリアにおいて、ハード・ソフト両面からの多様な取り組みを推進しています。今後、当該エリア内の取り組みをそれぞれに有機的に連携・活用しながら、さまざまなステークホルダーとの協業を通して、エリアの活性化を図っていきます。

(1) 虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業

本事業では、開発が進む虎ノ門エリアにおける新たなランドマークとなる「駅と一体となった国際的なビジネス交流拠点（(仮称) 虎ノ門イノベーションセンター）」を創造することで、虎ノ門エリアを含む東京の国際競争力と魅力の向上に資する街づくりに貢献していきます。

(2) 東京虎ノ門グローバルスクエア

当社が地権者の1社として参画する「虎ノ門駅前地区第一種市街地再開発事業（東京虎ノ門グローバルスクエア）」は、「国際的なビジネス交流拠点としての機能強化」を図っています。オフィスフロアは、国際的なビジネス交流拠点に相応しい仕様・機能を備え、今後ますます多様化する働き方・人材に合わせた環境づくりを目指してフレキシブルでレイアウトのしやすい空間を実現しています。

(3) REVZO 虎ノ門

REVZO は“「はたらく」を解き放つ”をコンセプトに、オフィスワーカーが自分らしく、心身ともに健やかに、創造的に働くことができるオフィス空間を提供しています。

(4) SENQ 霞が関

SENQ は、会員同士の交流やマッチング、セミナー・イベントの開催、パートナー企業・団体との連携の推進等、会員の事業創造、事業成長を支援するオープンイノベーションオフィスです。当社本社ビル2階に位置する「SENQ 霞が関」を含め、都内に4拠点展開しています。

(5) 地域コミュニティの活性化

① エリア内のオンラインコミュニティの活性化

地域 SNS アプリ「ピアッツァ」と業務提携し、霞が関・虎ノ門・日比谷・永田町エリアのオンラインコミュニティを開発しています。オンライン上の交流の場を設けることで、地域で働く人や訪れる人同士が互いに交流を図り、本エリアの魅力を引き出し、向上させていくことを目指します。

②虎ノ門ランチマップ

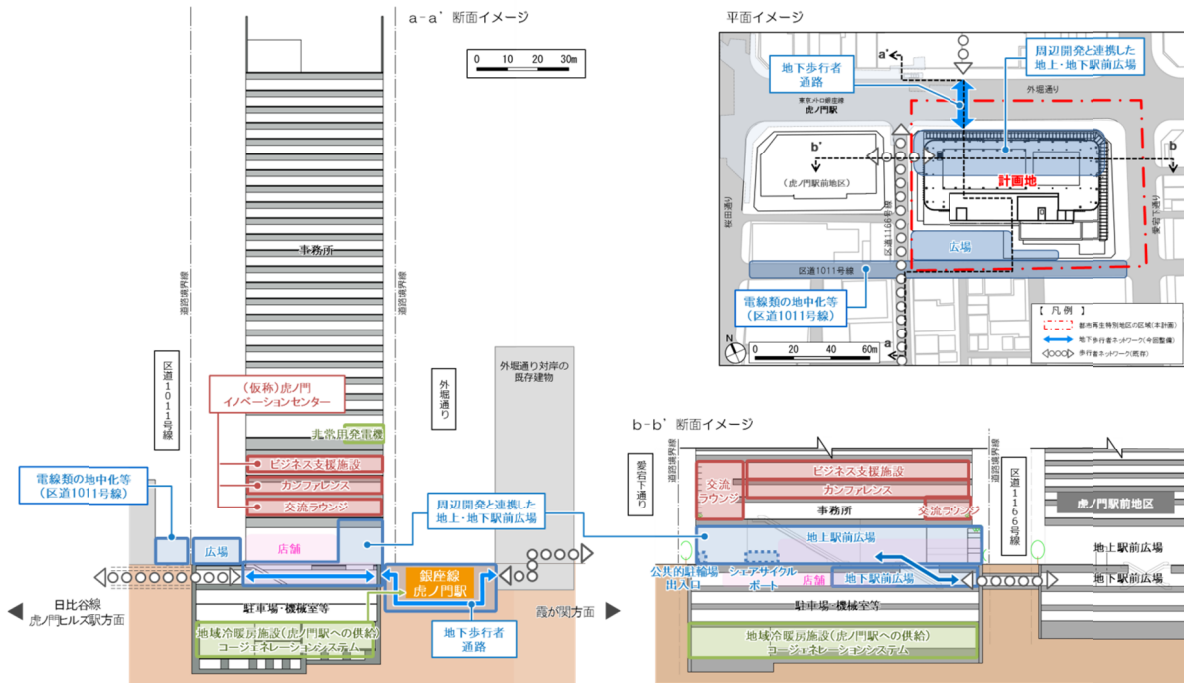
Come On!!虎ノ門製作委員会協力の下、虎ノ門エリアの就業者などに向けた「虎ノ門ランチマップ」を作成し、現時点までに約 10,000 部を発行しております。

〈補足資料〉

◆「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」概要

事業名称	虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業
所在	東京都港区虎ノ門一丁目4番、5番、8番
敷地面積	約 6,400 m ²
容積率	1,500%
延床面積	約 126,000 m ²
階数・高さ	地下5階 地上30階・約180m
用途	事務所、店舗、ビジネス支援施設など

◆用途断面図



中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 (吉富・西村)
 Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940